

資本市場の構造変化と新しい投資領域の拡大

－ 資産を使った企業の資金調達と資本構造の多様化 －

HCアセットマネジメント株式会社

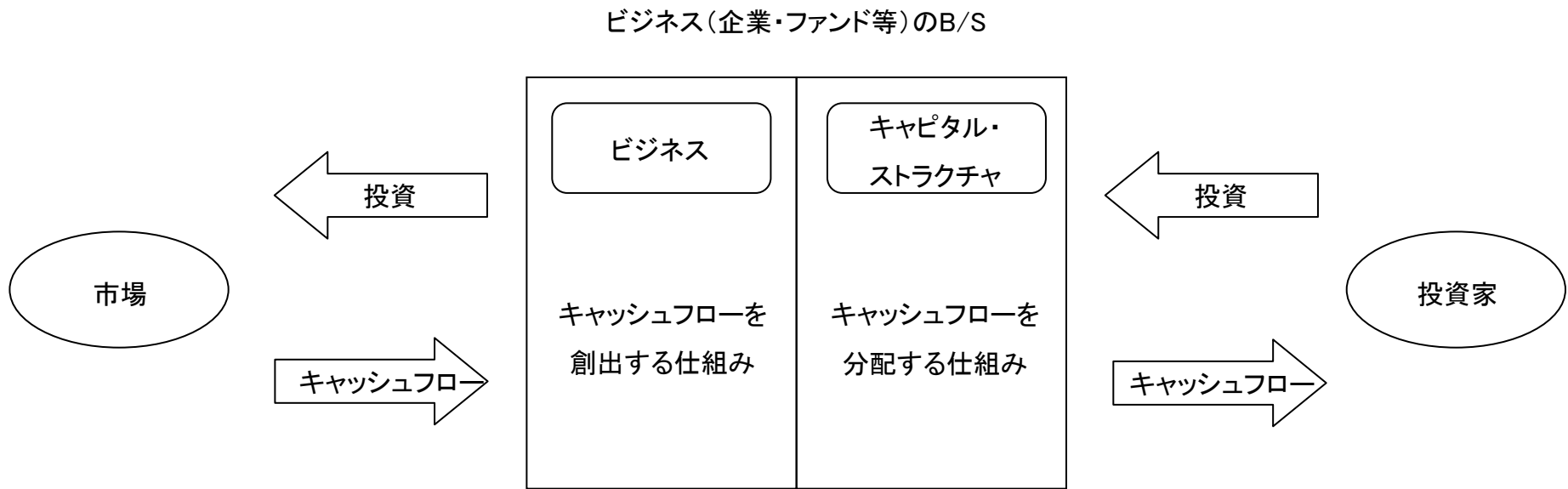
金融商品取引業者
加入協会

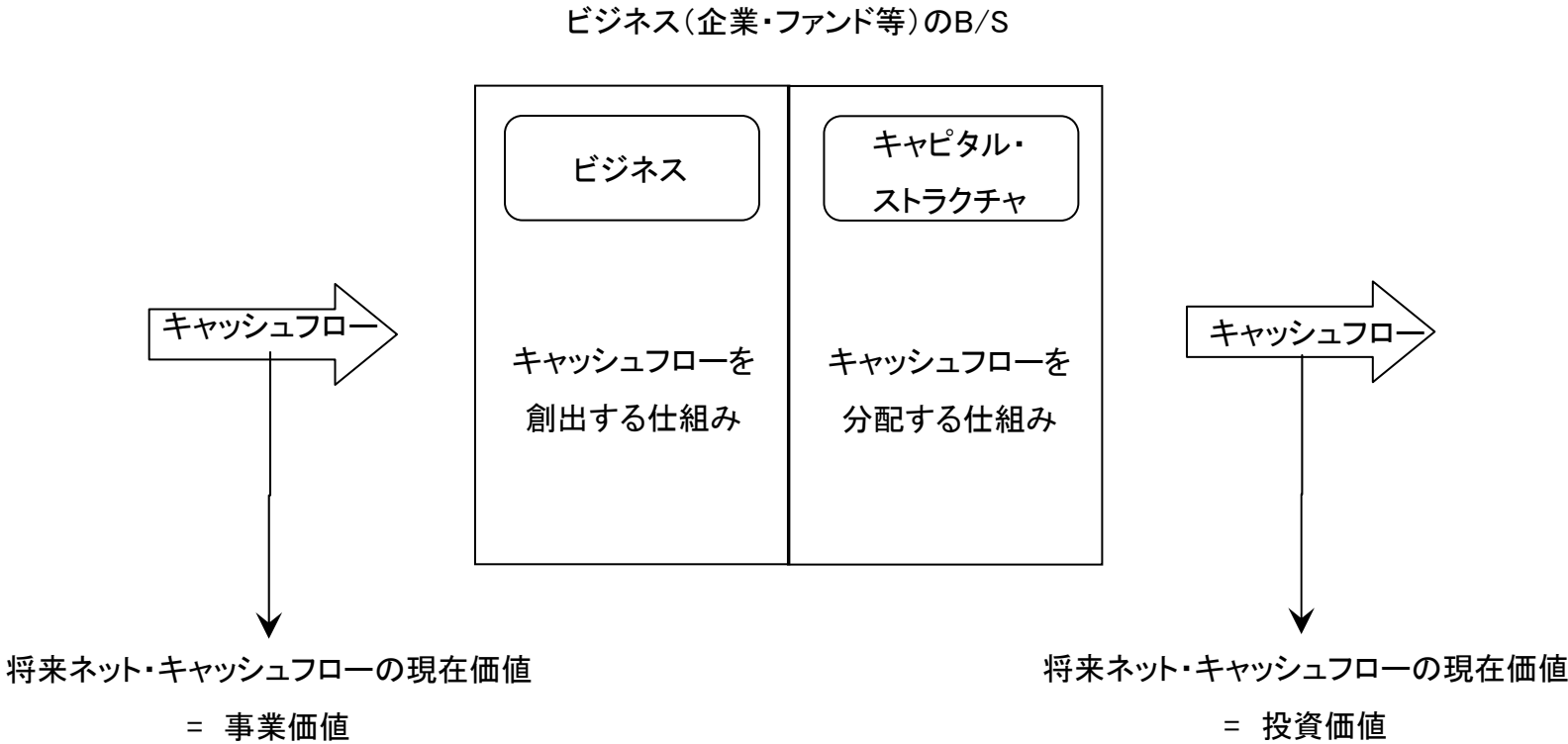
関東財務局長（金商）第430号
（社）日本証券投資顧問業協会

<http://www.fromhc.com>
<http://www.hcax.com>
<http://www.ventureza.jp>

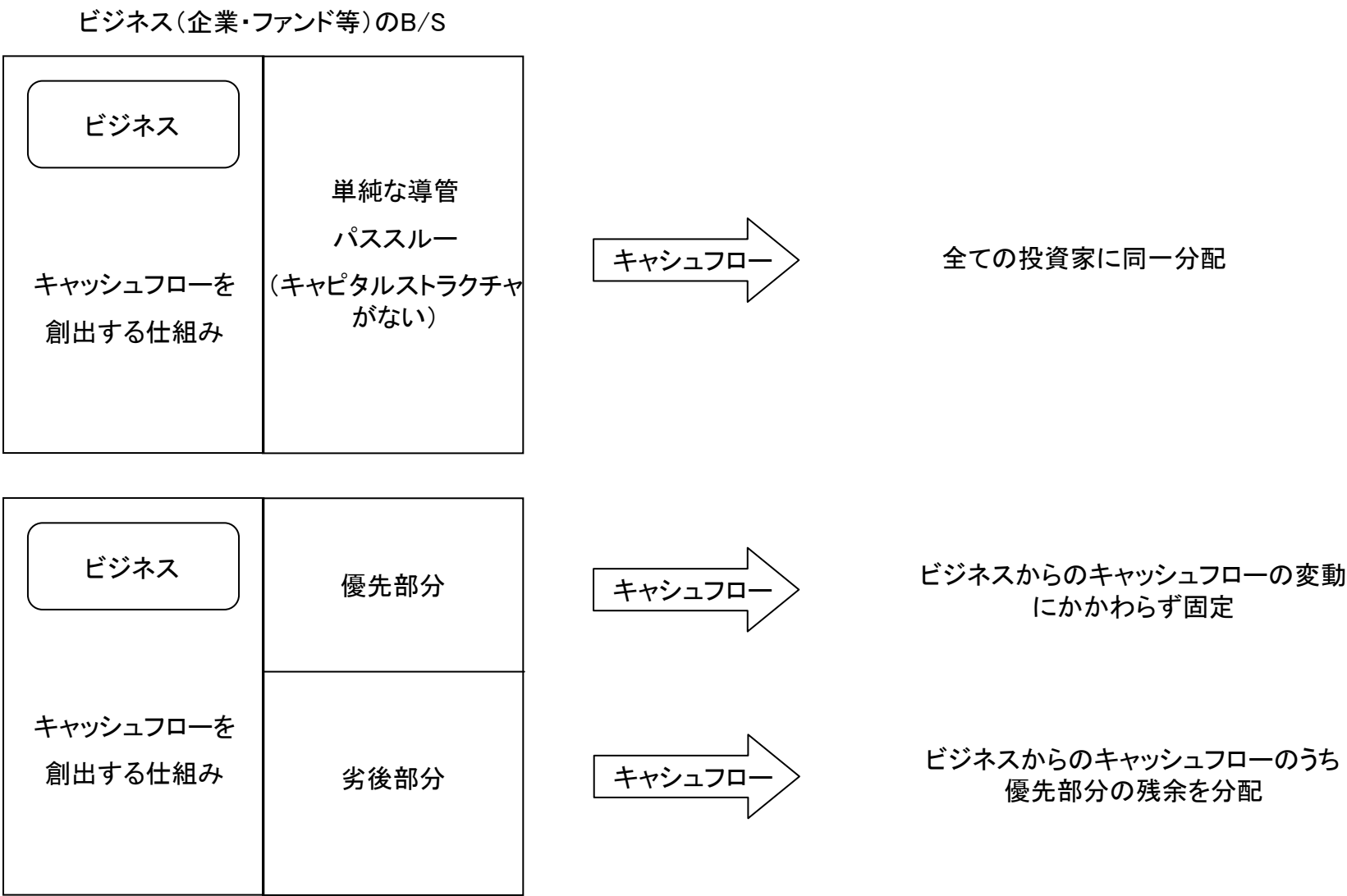
2008.08.21







キャッシュフロー分配の優先順位(=キャピタル・ストラクチャ)

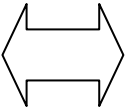


キャピタル・ストラクチャと事業価値

キャピタル・ストラクチャの差は、事業価値に影響を与えない。しかし、固定債務の利払い負担や、借換えに関する不確実性が、事業の継続に影響を与える可能性はある。

例) 不動産ファンド

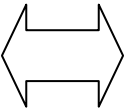
収益不動産	レバレッジ
	エクイティ



収益不動産	エクイティ
-------	-------

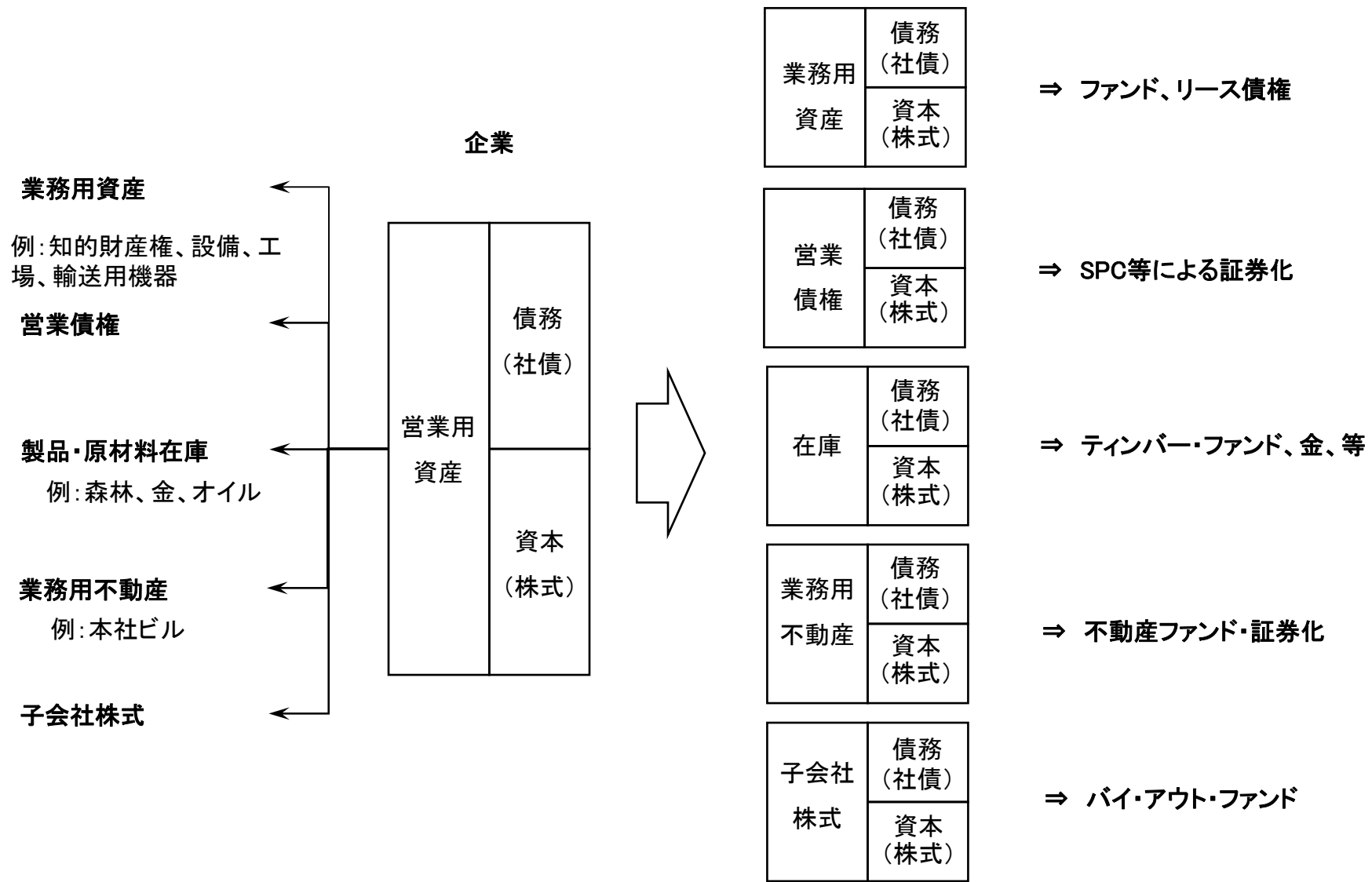
例) レバレッジド・バイアウト

ビジネス	債務
	公開株式

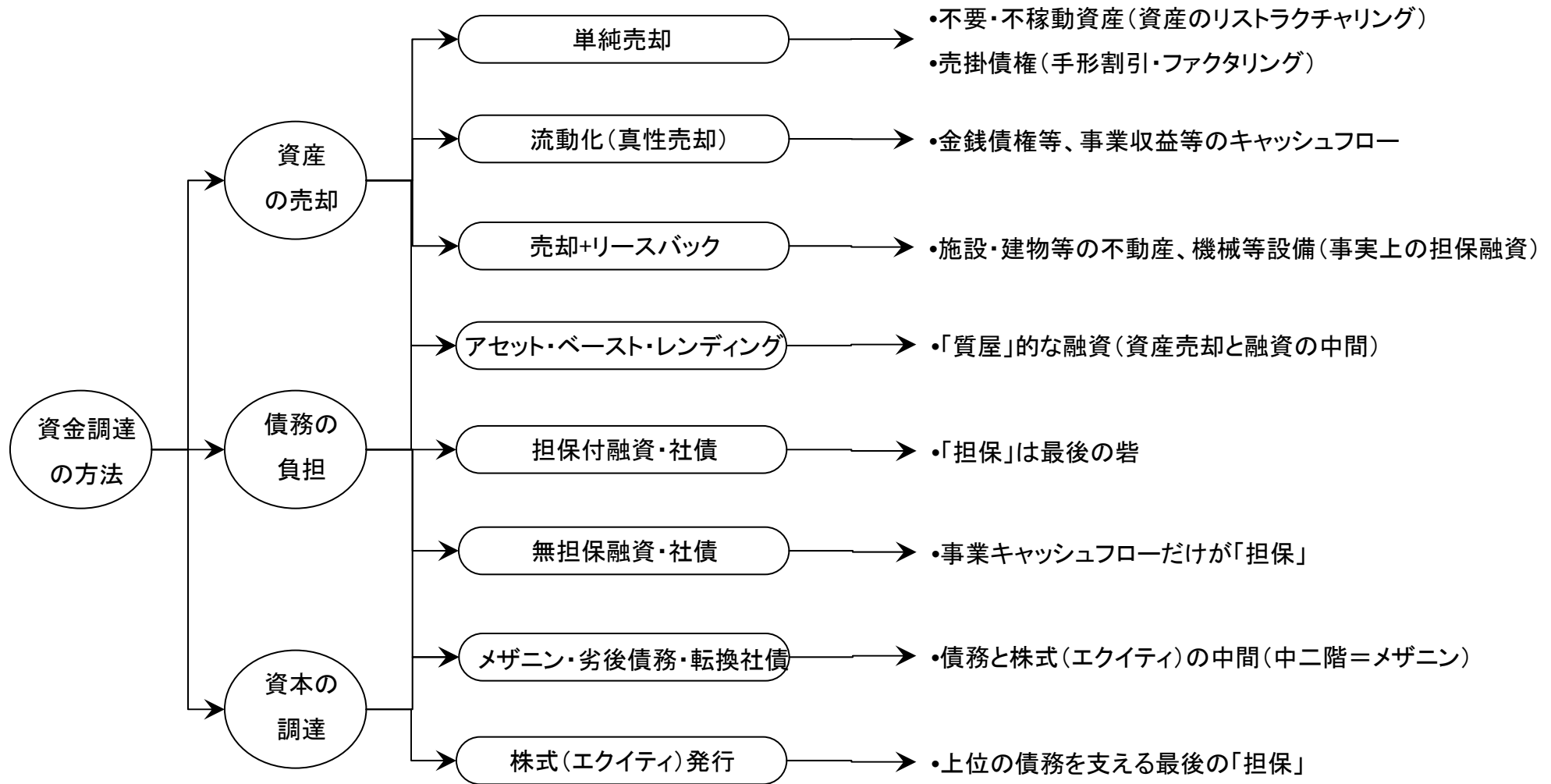


ビジネス	レバレッジド・ローン ハイ・イールド
	非公開株式

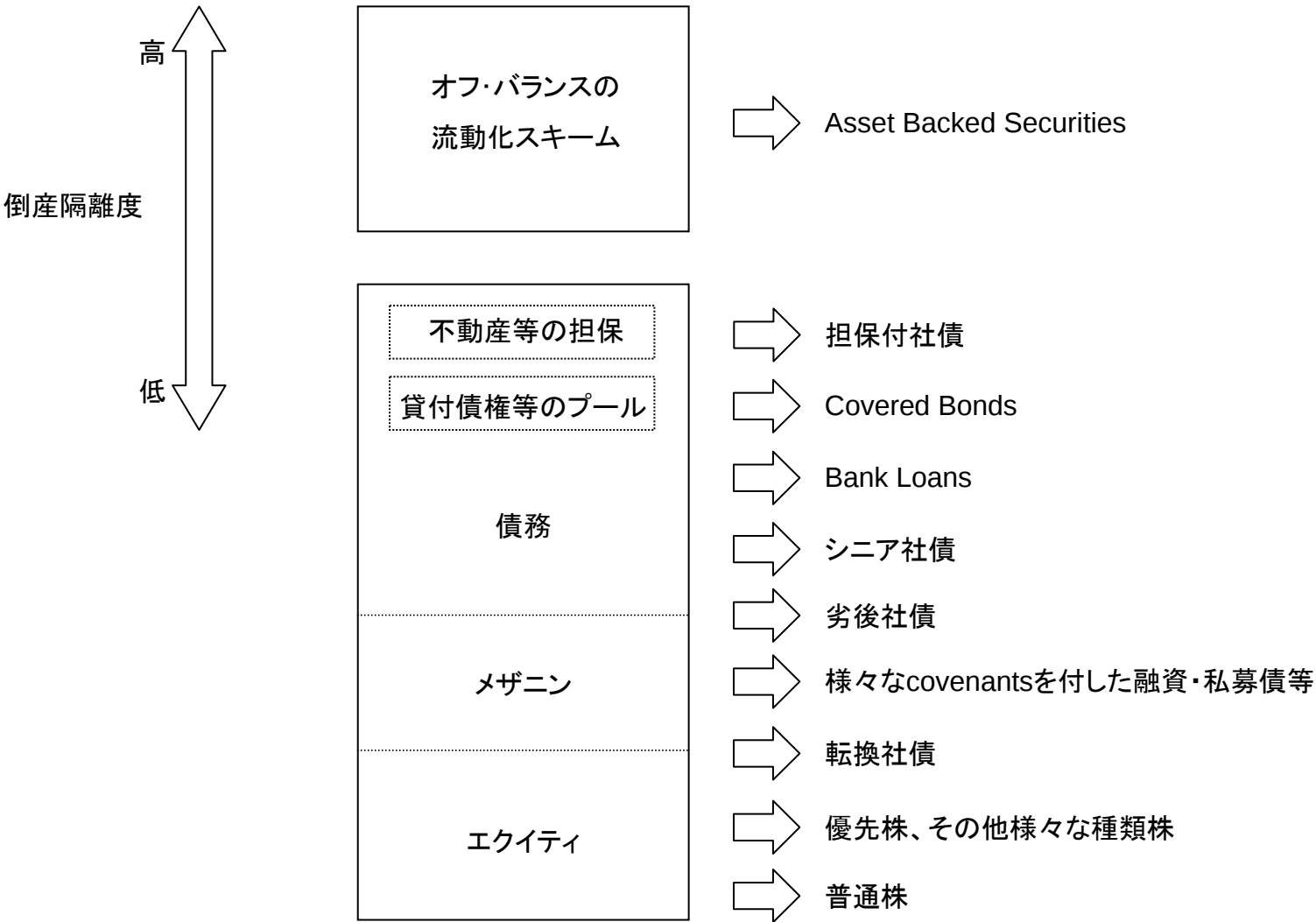
資本市場の構造変化による「伝統資産」の解体



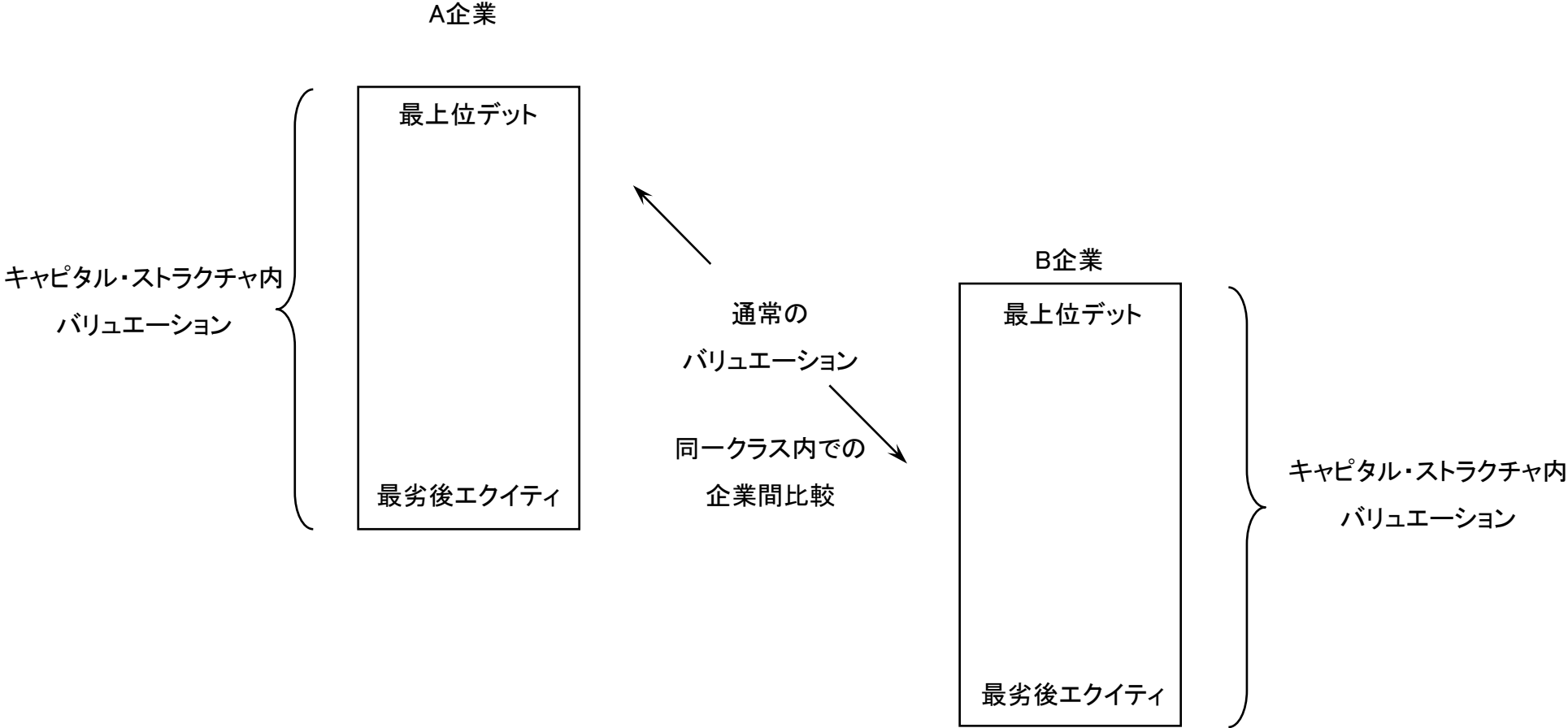
伝統的融資の限界と代替的ファイナンスの方法



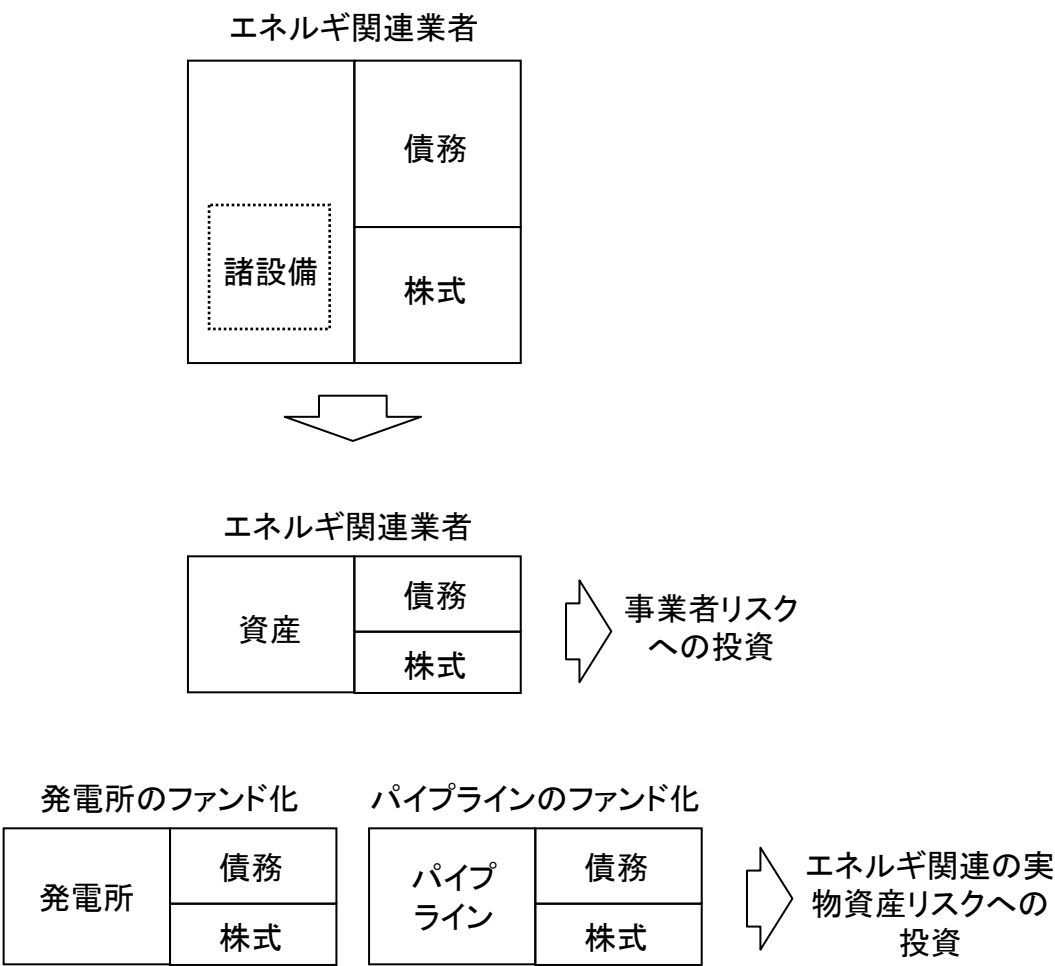
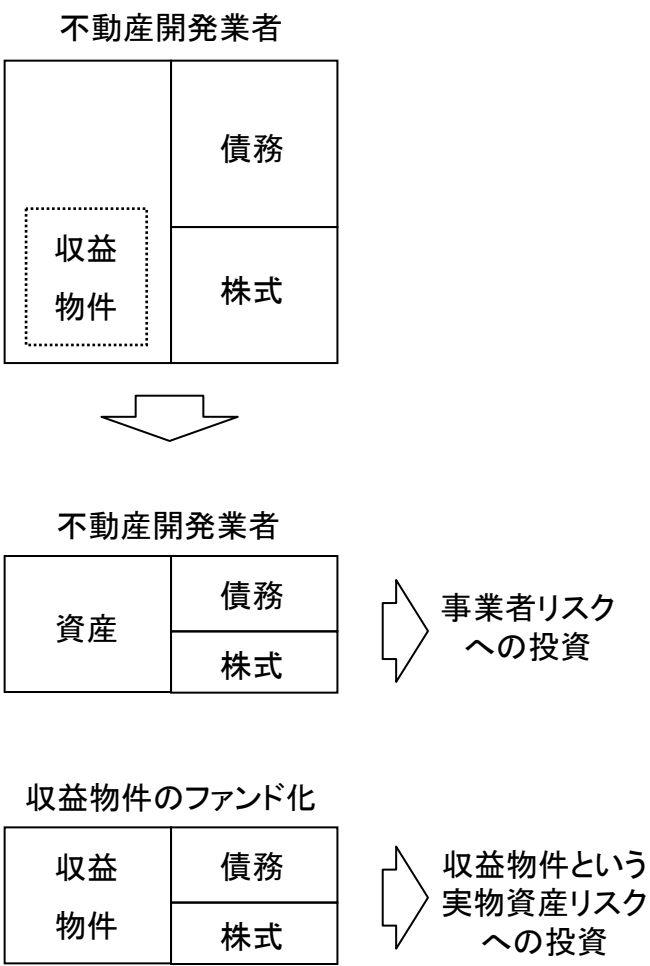
キャピタル・ストラクチャーの多様化



キャピタル・ストラクチャのシニョリティ秩序



事業者リスクと事業関連の実物資産リスク



価格のリスクから稼働率・オペレーションのリスクへ

パイプライン



- パイプライン利用料は、油量等（原油等の価格ではない）にリンク
- 原油価格等が下落しても、稼働率が下がらない限り、収益を生む

発電所



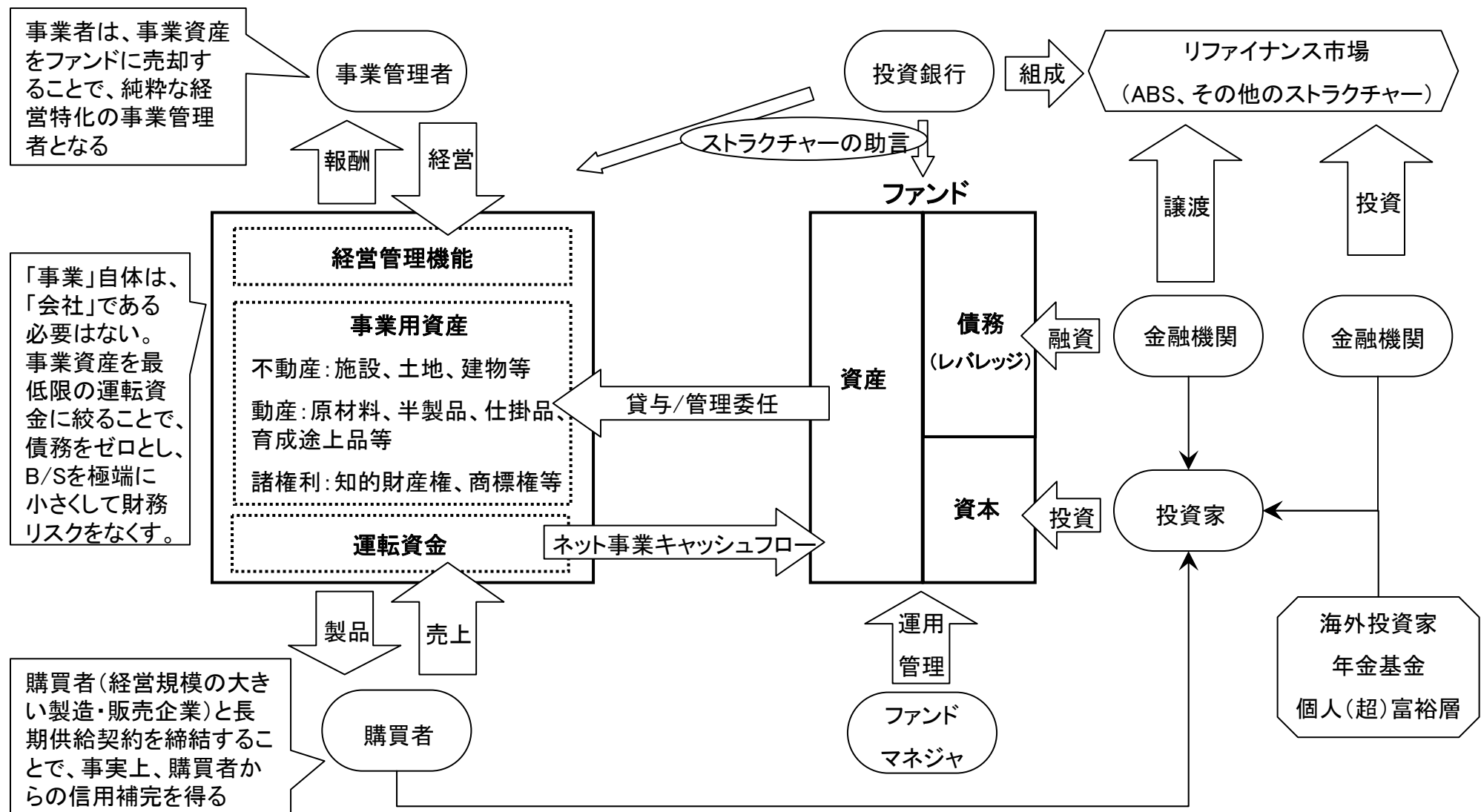
- 原油等の価格を売電価格に転嫁できる限り、価格リスクからは中立
- 施設マネジメントのオペレーショナル・リスクが鍵

不動産収益物件



- 賃料の変動率は、不動産価格の変動率よりも小さい
- 本質的なリスクは空室率の上昇（稼働率の低下）
- テナント政策などのマネジメント・スキルが鍵

実物資産ファンドの基本概念図



- 本セミナーは、資本市場の構造変化に伴う新しい投資対象の創出について解説・検討を行うものでございます。本セミナーを通じたご理解を今後の資産運用を取り巻く諸課題へのご対応にお役立て下さい。
- なお、本セミナーは資本市場の構造変化に伴う新しい投資対象の創出について解説・検討を行うものであり、当社が行う投資運用業 投資助言・代理業の内容に関する情報提供を行うものではありません。また、本セミナーのテーマに関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。